

令和3年2月26日

報道関係者各位

大阪府 茨木市

傑作をお待ちします 「第2回川端康成青春文学賞」

茨木市は、「第2回川端康成青春文学賞」の作品を令和3年10月31日まで全国から広く募集します。選考委員には、芥川賞作家の羽田圭介氏・津村記久子氏と、川端康成ゆかりである茨木高等学校卒の脚本家、大野裕之氏をお迎えする予定です。

本市はノーベル文学賞作家川端康成が幼少期から青年期にかけて過ごしたまちです。同文学賞は、平成30（2018）年に本市の市制施行70周年、さらに川端康成のノーベル文学賞受賞50周年に当たり、記念事業として創設しました。作品を全国から公募することで、「川端康成が学んだ教育のまち茨木」を全国に周知するとともに、特に創作を通じて若年層が文学に親しむ機会の提供を図ります。

第1回は、全国から応募総数1,341篇があり、その中から大賞や優秀賞等4作品を決定し、大賞作品は中央公論新社の月刊「中央公論」に掲載されました。第2回川端康成青春文学賞においても、全国から若い世代の応募を歓迎し、みずみずしい青春を描いた物語を募集します。

なお、広報物に掲載予定の「小説の傑作が出来るをうたがわない」という言葉は、川端康成が旧制茨木中学校（現大阪府立茨木高等学校）在学中に記した日記の一文です。

記

1 募集期間

令和3年（2021年）10月31日まで

2 募集内容

日本語で書かれたオリジナルの未発表小説（ショートストーリー）とし、恋愛、ミステリー、ホラー、SFなど、ジャンルは不問。なお、川端康成が幼少期から青年期を本市で過ごしたことにちなみ、若い世代の応募を歓迎し、みずみずしい感性で青春を描いた物語を期待します。詳細は別紙募集要項のとおり。

3 選考委員（予定）

羽田 圭介氏（芥川賞作家）、津村 記久子氏（芥川賞作家）、大野 裕之氏（脚本家）

4 福岡洋一市長コメント

「川端康成が学んだまち茨木の取組みを知っていただき、「おうち」時間を使った素晴らしい作品をお待ちしています。」

【問合せ先】

文化振興課長 辻田 新一

電話：072-620-1810

